

平成 28 年度
持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21 世紀金融行動原則）
第 1 回 持続可能な地域支援ワーキンググループ
～プログラム～

日時:2016 年 8 月 5 日(金) 13:00～15:00

会場:三井住友信託銀行 本店 5階 会議室 B

13:00 開会

13:05 インTRODakション

「持続可能な地域支援 WG、本年度の取組方針」

三井住友信託銀行(※WG 座長機関) 経営企画部 理事・CSR 担当部長

チーフ・サスナビリティ・オフィサー 金井 司 氏

【講演】

13:10 ○基調講演 「高齢社会課題解決型の共創拠点

～地域における金融機関の役割について～」

(約 60 分 質疑応答含む)

東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授 秋山 弘子 氏

※略歴

イリノイ大学で Ph.D(心理学)取得、米国の国立老化研究機構(National Institute on Aging) フェロー、ミシガン大学社会科学総合研究所研究教授、東京大学大学院人文社会系研究科教授(社会心理学)、日本学術会議副会長などを経て、現在、東京大学高齢社会総合研究機構特任教授。専門＝ジェロントロジー(老年学)。高齢者の心身の健康や経済、人間関係の加齢に伴う変化を 20 数年にわたる全国高齢者調査で追跡研究。

また、環境未来都市推進ボードのメンバーとしてご活躍され、近年は首都圏と地方の 2 都市で長寿社会のまちづくりの社会実験に取り組む。長寿社会におけるよりよい生活のあり方を追求。

【ディスカッション】

14:10 ○ フリーディスカッション(約 45 分)

15:00 閉会

21世紀金融行動原則
持続可能な地域支援ワーキンググループ
これまでの活動

平成 25 年度

第 1 回WG

日時：平成 25 年 9 月 2 日（月）13：00～15：00

テーマ：「日本の少子・高齢社会の現状と課題」

講師：山崎 史朗 氏（消費者庁次長）

第 2 回WG

日時：平成 25 年 12 月 6 日（月）13：00～15：00

テーマ：地域包括ケアシステムの構築における住宅政策と医療介護政策の再編

講師：高橋 紘士 氏（国際医療福祉大学大学院教授）

第 3 回WG

日時：平成 26 年 1 月 31 日（金）13：00～15：00

テーマ：「介護と認知症」

講師：中村 秀一 氏（内閣官房社会保障改革担当室長）

第 4 回WG

日時：平成 26 年 2 月 21 日（金）13:00～15:00

テーマ：ディスカッション

「地域支援 WG 開催に当たっての背景、第 1 回～第 3 回講演のポイント、金融機関の取組・課題・可能性について、来年度の活動」

平成 26 年度

第 1 回WG

日時：平成 26 年 6 月 23 日（月）13:00～15:00

テーマ：「地域包括ケアの現状と地域金融機関への示唆」

講師：三原 岳 氏（東京財団 研究員 兼 政策プロデューサー）

フリーディスカッション

第 2 回WG

日時：平成 25 年 9 月 25 日

場所：埼玉県幸手市

内容：埼玉県幸手市・杉戸町で先進的に地域包括ケアシステムを推進している東埼玉総合病院に伺い、在宅医療連携拠点事業推進室長の中野医師の案内による現場視察

講師：中野 智紀 氏（東埼玉総合病院 在宅医療連携拠点事業推進室 室長）

第 3 回WG

日時：平成 26 年 10 月 31 日（金）13:00～15:00

テーマ：ディスカッション

「地域の持続可能性に対する金融機関の課題及び担うことができる役割」

話題提供「超高齢社会の介護問題」

石橋 未来 氏（株式会社 大和総研 経済調査部 研究員）

第4回WG ※環境不動産WG 共催

日時：平成27年2月27日（水）13:30～16:00

テーマ：持続可能な不動産の視点と、少子高齢社会問題の視点からの「地域の持続可能性」へのアプローチの可能性、課題を考える。

講演「人口動態、少子・高齢社会問題について」

中村 欣央 氏（株式会社 日本政策投資銀行 地域企画部 担当部長）

講演「少子高齢社会に求められる公共施設マネジメント」

遠藤 健 氏（株式会社 日本政策投資銀行 地域企画部 課長）

平成27年度

第1回WG

日時：平成27年9月1日（火）16:00～18:00

テーマ：「成年後見制度の概要と動向」

講師：東 啓二 氏（東京大学大学院教育学研究科 特任専門職員）

話題提供「NPO 市民後見サポートセンターなごみ と西武信用金庫の協働モデル」

第2回WG ※保険業務WG 共催

日時：平成27年10月16日（金）13:00～17:00

テーマ：21世紀金融行動原則シンポジウム「持続可能な地域社会の形成と高齢化社会への対応における金融機関の果たす役割とは」

基調講演「高齢者が安心して地域で暮らせる社会を目指して 法的立場から」

小賀野 晶一 氏（中央大学法学部教授）

講演「高齢顧客を対象とした金融実務の課題 医学の観点から」

成本 迅 氏（京都府立医科大学准教授）

講演「金融機関に望むこと 福祉の立場から」

上林 里佳 氏（社会福祉士／一般社団法人 京都社会福祉士会）

講演「成年後見制度と金融取引 法律家の視点から」

香川 美里 氏（弁護士／香川法律事務所所長・一般社団法人成年後見センターペアサポート 理事）

パネルディスカッション「認知症問題の深刻化に金融機関はどう対応していくのか」

（コーディネーター）

金井 司 氏（三井住友信託銀行経営企画部理事・CSR 担当部長）

（パネリスト）

高橋 一郎 氏（西武信用金庫 常勤理事）

幡 宏幸 氏（京都銀行 執行役員コンプライアンス統轄部長兼お客様サービス室長）

金井 圭 氏（損害保険ジャパン日本興亜 CSR 部 特命課長）

山田 克彦 氏（大日本印刷 研究開発・事業化推進本部シニアエキスパート）

高齢社会課題解決型の共創拠点 ～地域における金融機関の役割について～

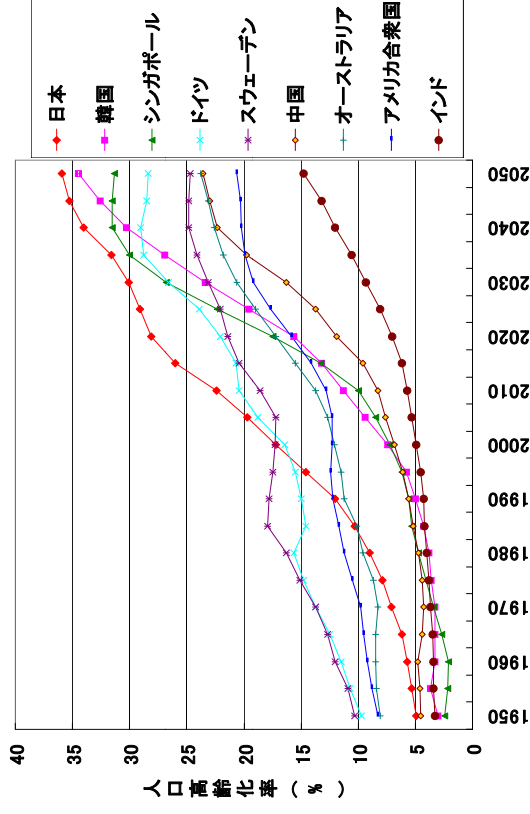
秋山 弘子
東京大学高齢社会総合研究機構

金融行動原則（21世紀金融行動原則）
H28第1回 持続可能な地域支援ワーキンググループ

2016年8月5日



地球丸ごと高齢化



人生90年時代 ～日本人の平均寿命～

男性 80歳

女性 86歳

古い人生の区分

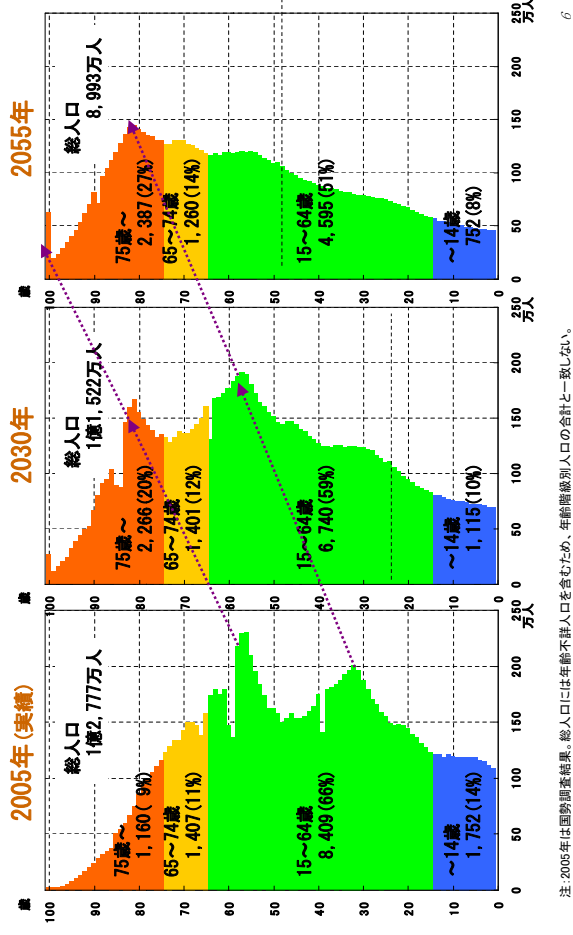
第1期	子ども
第2期	大人
第3期	老人

新しい人生の区分

- 第1期 子ども
- 第2期 大人
- 第3期 前期高齢者
- 第4期 後期高齢者

高齢者人口の高齢化

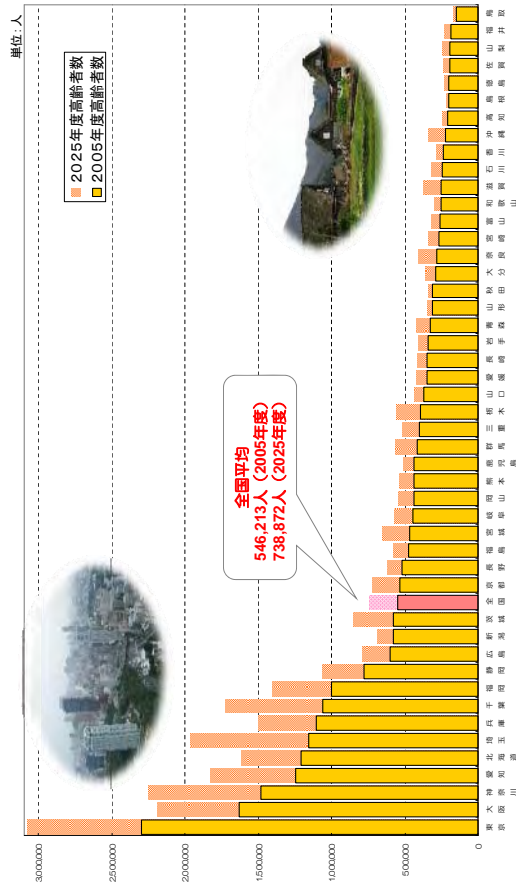
—平成18年中位推計—



長寿社会の課題

1. 個人の長寿化 → 人生90年の設計
多様な人生設計が可能
多毛作人生も可能
自分らしく死ぬ
2. 人口の高齢化 → 社会のインフラ(ハード&ソフト)のつくり直し
3. Global aging → 長寿社会対応の産業の創成
市場は大きい

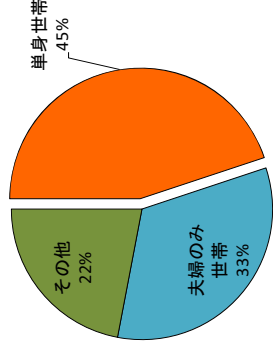
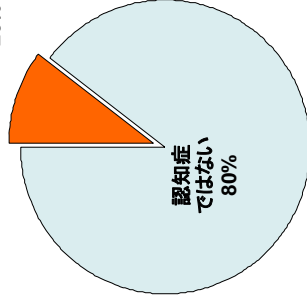
高齢化するのは都市人口



14年後には...



認知症
20%

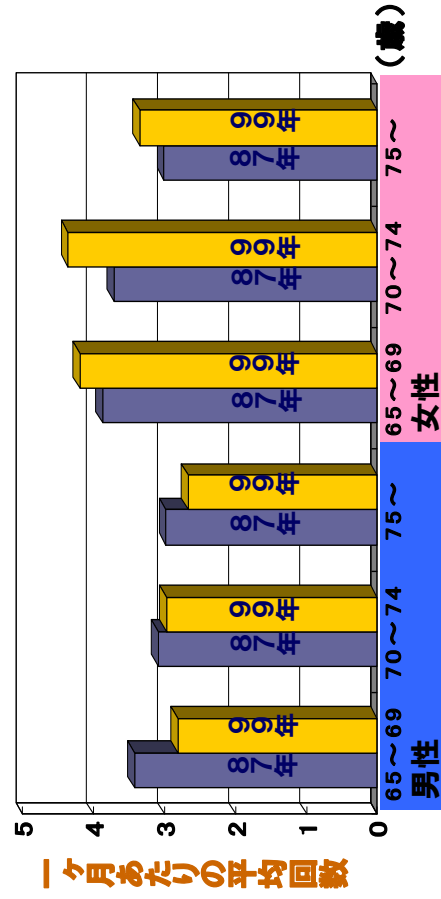


倍になった人生

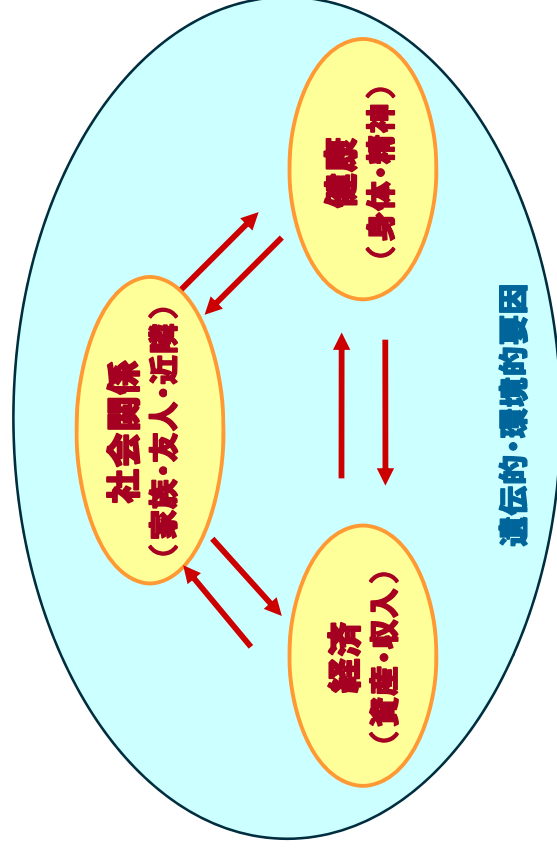
人生50年 ⇒ 人生90年

定年後は余生 ⇒ セカンドライフ

友人・近所の人・親戚との対面接触



加齢による生活の変化: 全国高齢者パネル調査



調査方法

- 全国の住民基本台帳から60歳以上の住民を無作為抽出 (N=5715)
- 3年毎に防同面接調査

17

生活自立度

得点

- 3 ADL、IADL ともに自立
- 2 IADL 項目に要支援、ADL 項目は自立
- 1 ADL、IADL ともに要支援
- 0 死亡

ADL questions (3項目)

- 風呂にはいる
- 短い距離を歩く
- 階段を2、3段上がる

IADL questions (3項目)

- 日用品の買い物をする
- 電話をかける
- バスや電車に乗って外出する

19

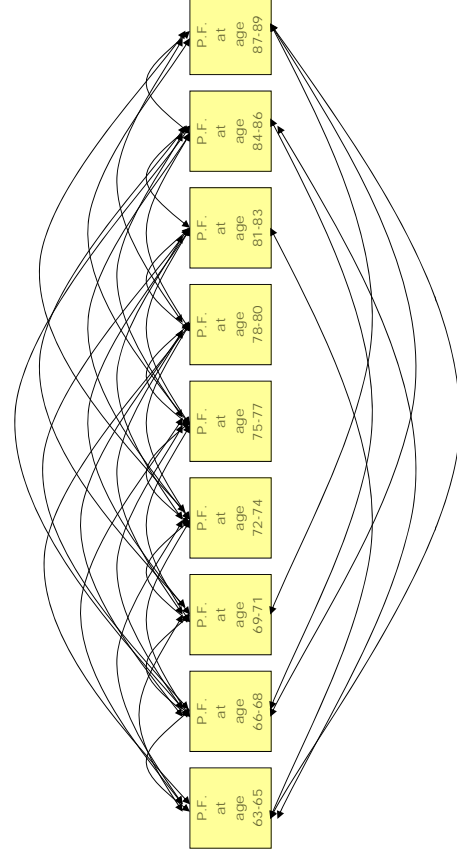
パネル調査年

- 1 次調査 1987
- 2 次調査 1990
- 3 次調査 1993
- 4 次調査 1996
- 5 次調査 1999
- 6 次調査 2002
- 7 次調査 2006
- 8 次調査 2012 (生検導入)

18

潜在クラス分析: 分析モデル

各年齢階級の平均値と分散を推定させ、そのパターンを探る

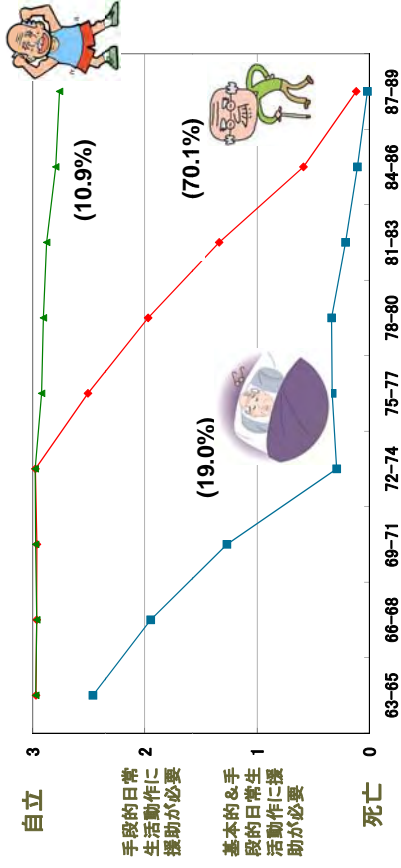


20

自立度の変化パターン

— 全国高齢者20年の追跡調査 —

男性



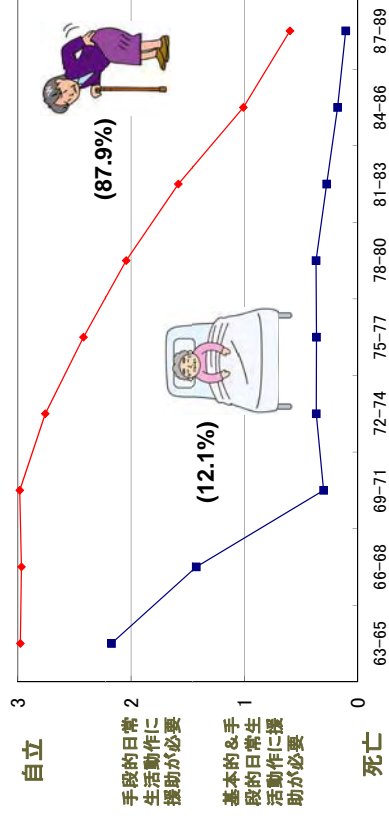
年齢

出典) 秋山弘子 長寿時代の科学と社会の構想 『科学』 岩波書店, 2010

自立度の変化パターン

— 全国高齢者20年の追跡調査 —

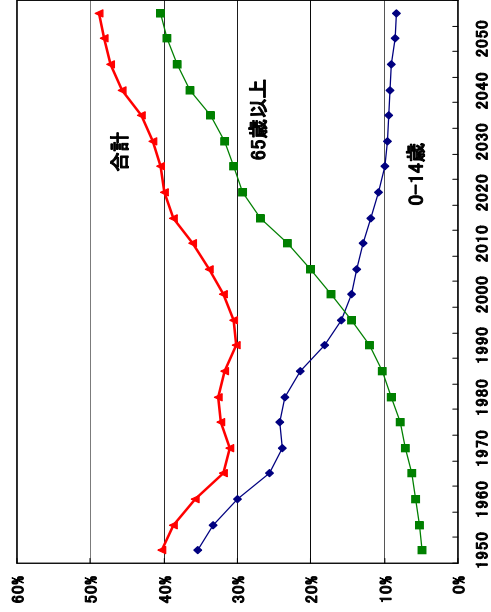
女性



年齢

出典) 秋山弘子 長寿時代の科学と社会の構想 『科学』 岩波書店, 2010

地域密着人口の推移



(出典) 2005年までは国勢調査、2010年以降は「日本の将来推計人口」(平成18年12月推計)

何をなすべきか？

- 自立期間(健康寿命)の延長
- 住み慣れたところで日常生活の継続を支える生活環境の整備
- 人の繋がりづくり

長寿社会のまちづくり：コミュニティで社会実装



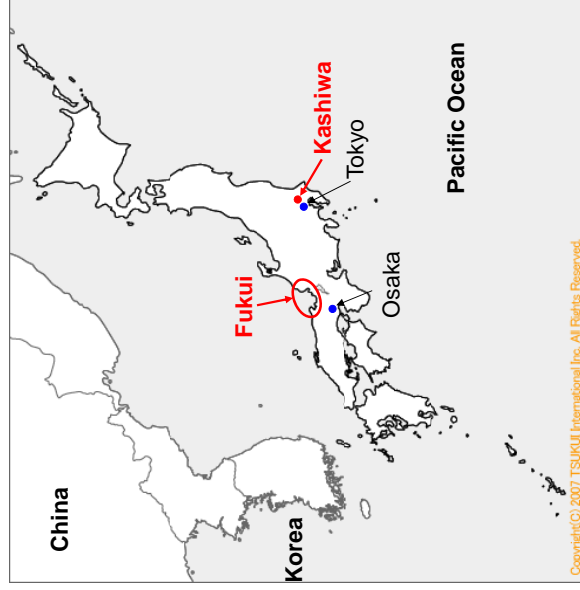
25

まちづくりの主要な領域

- 就労・社会参加・生きがい
- 生涯学習
- 人の繋がり
- 虚弱予防
- 包括的医療・介護システム
- 住宅
- 移動手段
- 情報システム
- (金融サービス)

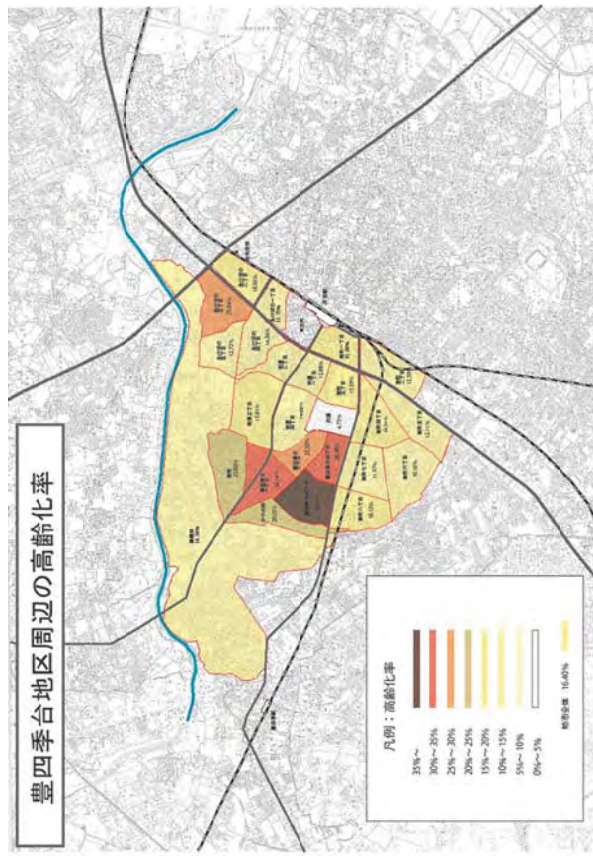
26

2つのコミュニティで社会実装

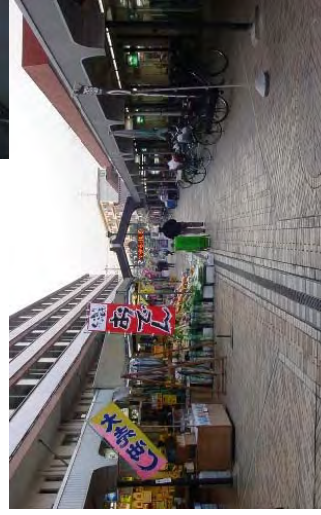


Copyright© 2007 TSUKUBI International Inc. All Rights Reserved

27



28

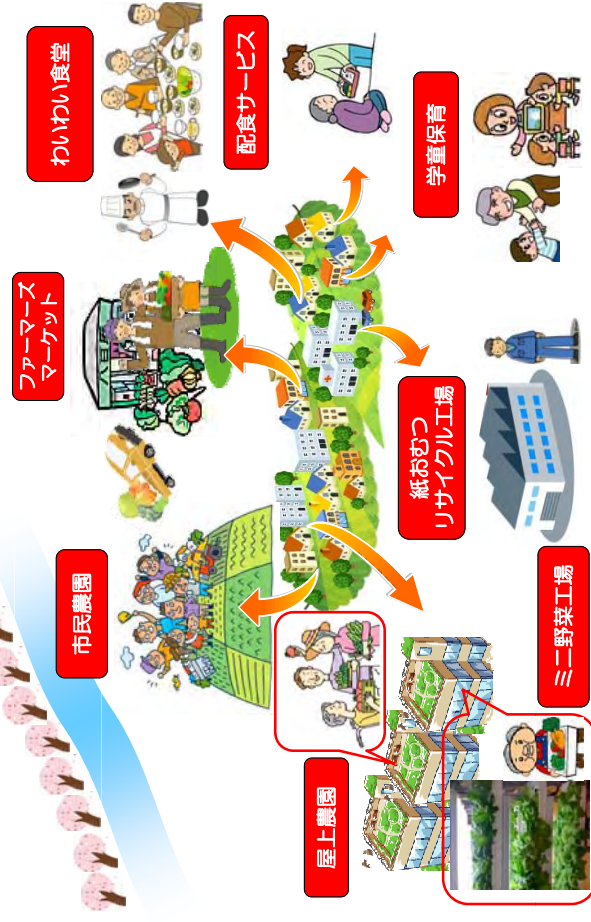


コミュニティの構想図

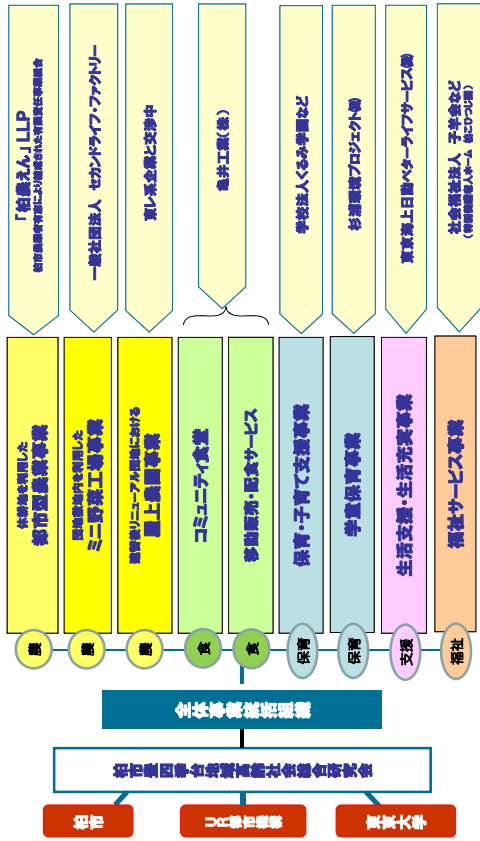


全員参加 生涯参加

セカンドライフの就労



就労の場を創る



セカンドライフの新しい働き方

事業の担い手および就労者(シニア)と協働し、セカンドライフにふさわしい働き方の開発・普及を担う「オフィスセブزن」の設立

- 市民を対象とした「就労セミナー」を開催（約700名が修了）
- セミナー修了者で、7事業で雇用された方が就労開始
- フレキシブルな働き方を支援する、クラウドコンピュータシステムを用いた技術開発



生涯現役社会(エイジフリー社会)の実現

シニアの就労は、個人のセカンドライフ課題と地域創生に貢献



軽労化技術（北海道大学・三菱電機と連携）

軽労化技術の実フィールド評価

農作業補助
東山町 冬冬農園(2007.7) 北竜町 黄葉ファーム(2010.6) 東山町 青葉ファーム(2008.11.2)

除雪作業補助
札幌市内(2009.1)

建設作業補助
札幌市内(2010.1-2)

介護作業補助
札幌市内病院(2010.5-7)

競走馬調教作業補助
東野町 チェストナットファーム(2010.9)

疲労・身体負担軽減度のみで評価

比較的短期的な評価

生きがい・就労の効果検証

高齢者本人と地域社会との両者への継続的な効果を測定・検証

個人

体と頭の機能維持、健康増進
地域社会との関わりの増加
生きがい・自己実現

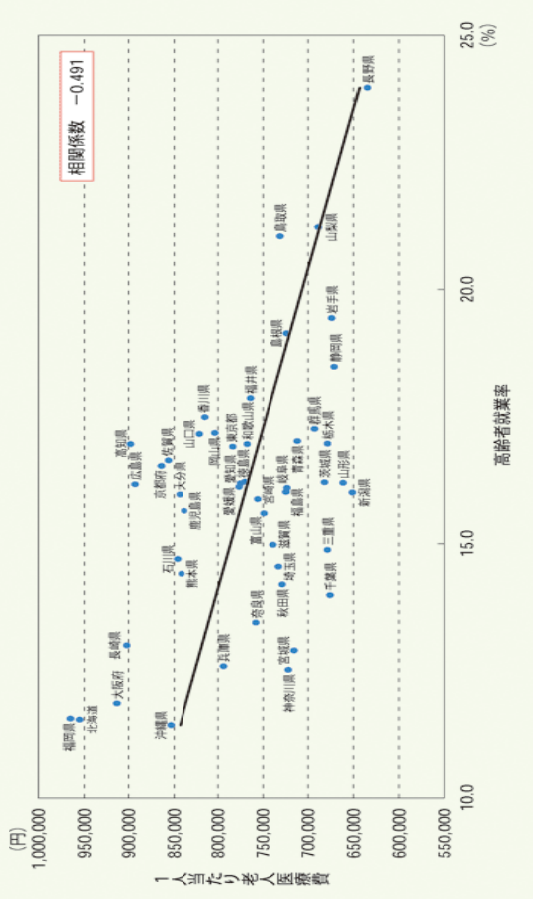
就労者・非就労者を追跡検査・調査
身体・認知機能、体組織
社会活動や消費行動の実態
地域や自己に関する意識...

地域社会

地域の労働力・納税者の拡大
医療・介護費の抑制・消費拡大
社会的孤立問題の改善

地域の社会調査やマクロデータの解析
地域住民の社会活動や消費行動の実態
医療費・税金収入
農・保育・生活支援分野の活性化

図表 3-6-3 都道府県別 1人当たり老人医療費と高齢者就業率（70歳以上人口に占める就業者の割合）の相関関係



資料：厚生労働省保険局「老人医療事業年報」（2004年度）、総務省統計局「国勢調査」（2005年）より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成。

研究検査室

血管検査

CAVI/ABI
FMD (血流依存性血管拡張反応)

骨密度測定

踵骨による骨密度測定 (YAM)

IOG研究検査室

認知機能評価

物忘れ相談プログラム/タッチエム
即時再生/見当識/遅延再生/図形認識

活動量計測

歩数/消費カロリー/Mets

体組成測定

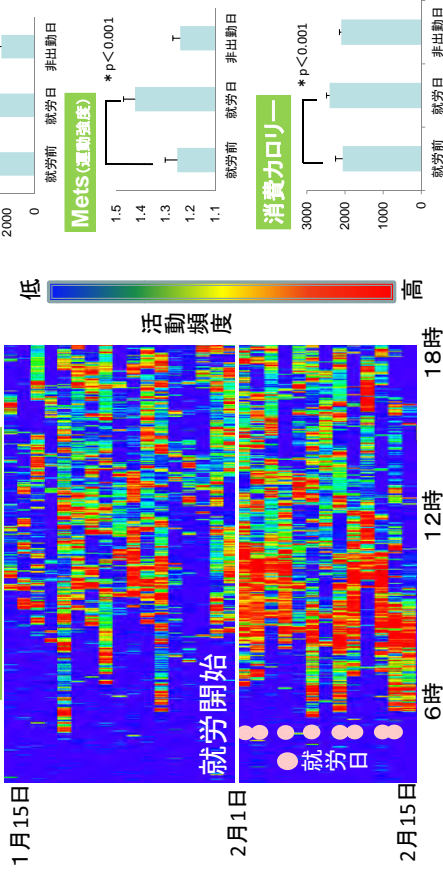
脂肪量/筋肉量/
水分量/推定骨量

研究検査室

活動量計測

・歩数/消費カロリー/Mets

活動頻度(タペストリ)



コミュニティ食堂イメージ@柏市豊四季台



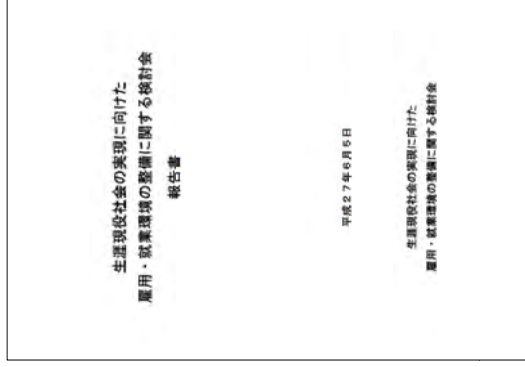
(資料) 亀井工務ホームセンターが主催する高齢者就業体験活動の現場である「フレンドリー川南」

柏市におけるセカンドライフ支援・プラットフォーム化

柏市セカンドライフプラットフォーム事業



厚生労働省「生涯現役社会の実現に向けた雇用・就業環境の整備に関する検討会」報告書



経済産業省「活力あふれる『ピンチー・ソサエティ』の実現に向けた取り組みに係る研究会」報告書

活力あふれる「ピンチー・ソサエティ」の実現に向けて

高齢者が、多世代に賑やかに交わりながら、「社会の負担」になるのではなく、むしろ「社会の力」になっている社会、それが「ピンチー・ソサエティ」。

平成 28 年 3 月
活力あふれる「ピンチー・ソサエティ」の実現に向けた取組に係る研究会



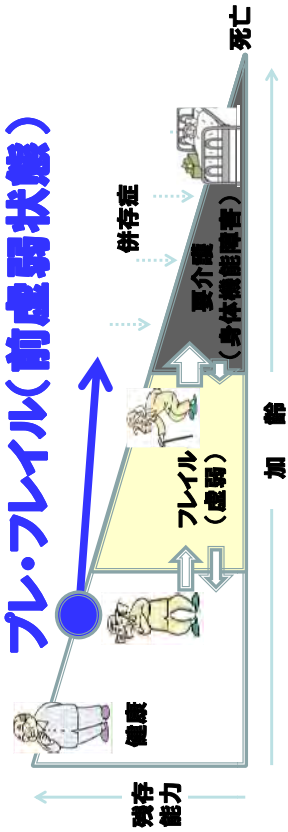
機能低下が「顕在化する前」の視点を！

～戦略的学術研究【柏スタディー】の狙い～

住民に分かりやすい
住民同士でチェックできる
簡易評価法（フレイルチェック）
と早期介入ポイント

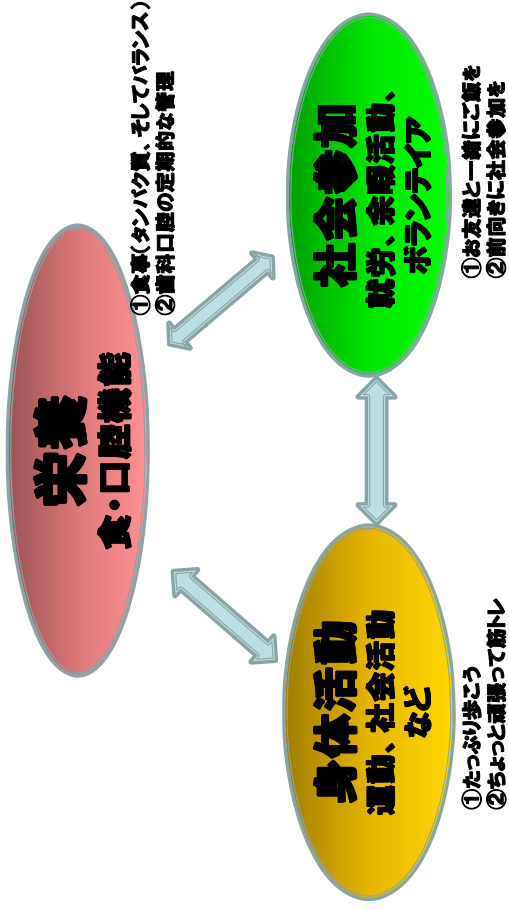
元気が高齢者がフレイル予防サ
ポーター（担い手側）になり、
住民主体で楽しい場を作り、
気づき・自分事化へ

フレ・フレイル（前虚弱状態）

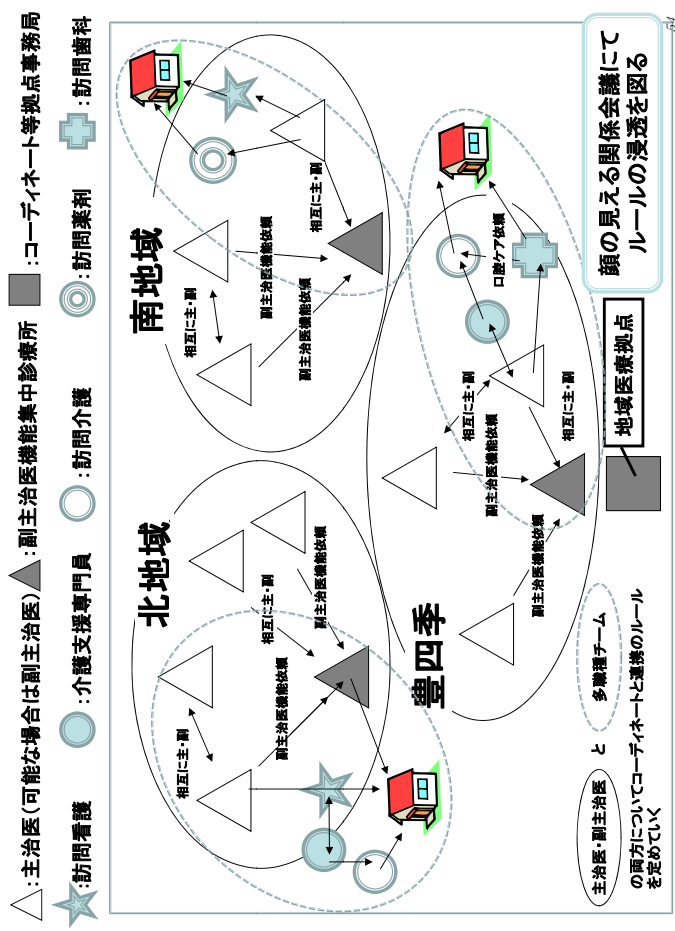
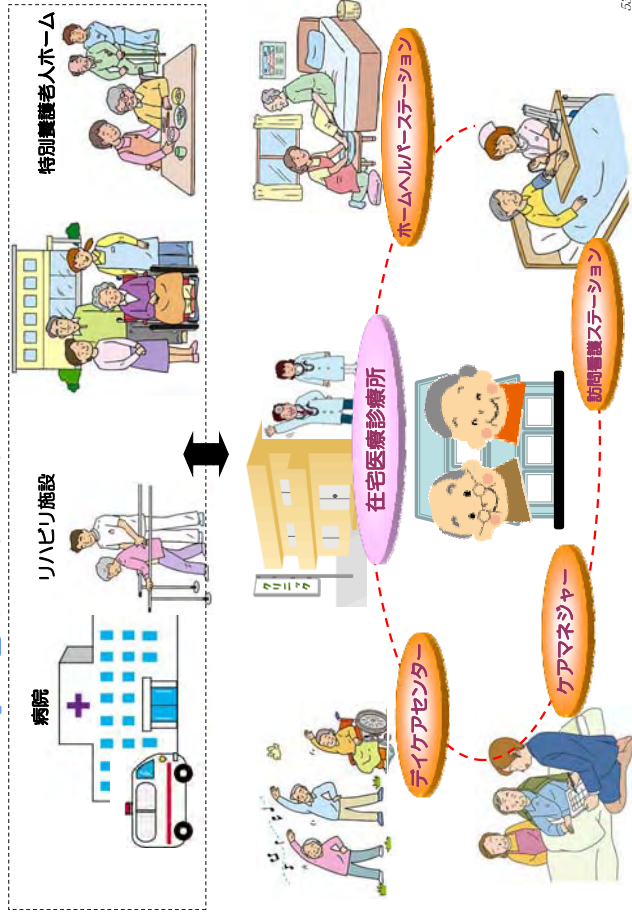


健康長寿のための『3つの柱』：三位一体

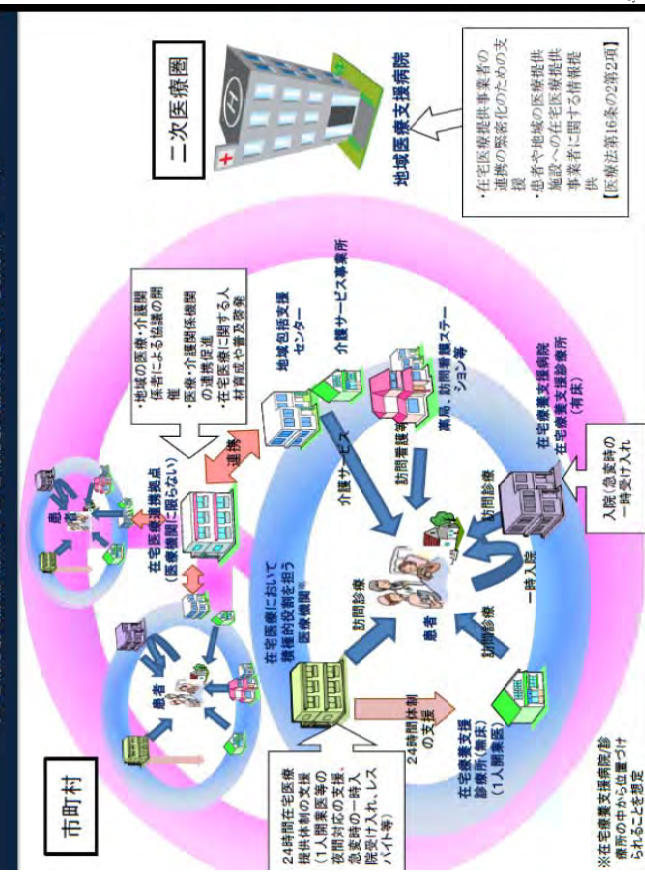
より早期からのサルコペニア予防・フレイル（虚弱）予防



在宅ケアシステム: Cure → Care



在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院等の役割(イメージ)



柏プロジェクトの連携の場

在宅医療を推進するためには、行政(市町村)が事務局となり、医師会をはじめとした関係者と話し合いを進めることが必要。
→ システムの構築を推進するために、以下の5つの会議を設置(事務局は柏市)。

- 医療WG**
医師会を中心にWGを構成し、主治医・副主治医制度や病院との関係を議論
- 連携WG**
医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院関係者、看護師、ケアマネジャー、地域包括支援センター等によるWGを構成し、多職種による連携について議論を行う。
- 試行WG**
主治医・副主治医制度や多職種連携について、具体的ケースに基づき、試行と検証を行う。
- 10病院会議**
柏市内の病院による会議を構成し、在宅医療のバックアップや退院調整について議論。
- 顔の見える関係会議**
柏市の全在宅サービス関係者が一堂に会し、連携を強化するための会議。

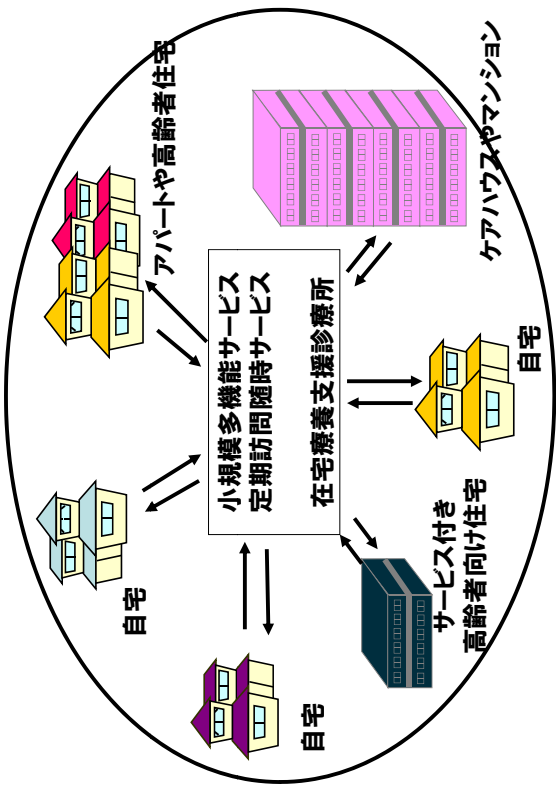
柏プロジェクトーUR柏豊四季台団地内 サービス付き高齢者向け住宅

◇イメージ図

サービス付き高齢者向け住宅



地域社会がひとつの施設・病院(こぶし園小山氏資料を基に作成) 介應付き住宅ではなく、介應付きの地域社会が可能



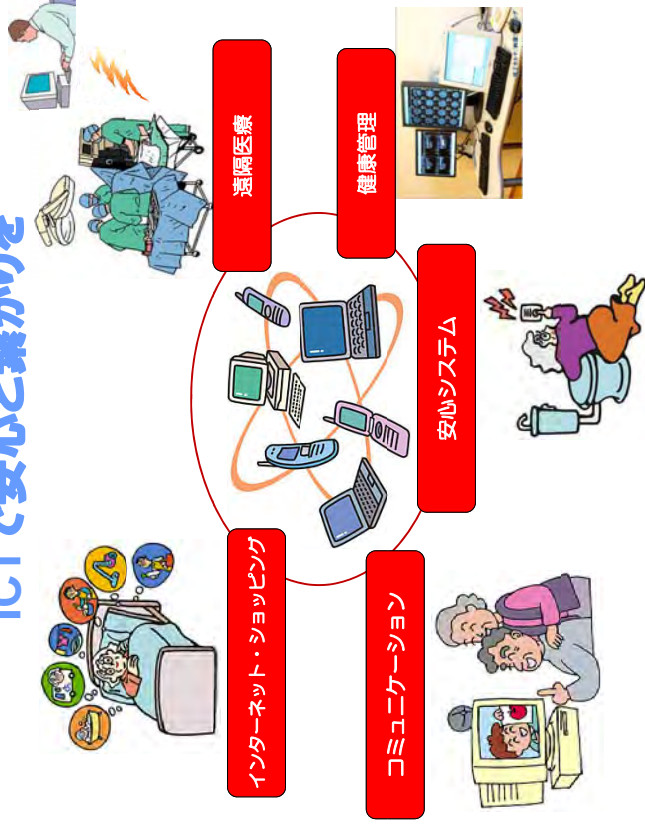
地域包括ケアのすすめ ～在宅医療推進のための多職種連携の試み～



高齢者にもやさしい移動手段



ICTで安心と繋がりを



61

金融サービス

- 個人の金融行動支援
- 「長寿社会のまちづくり」の舵取り

62

Multi-stakeholders の協働

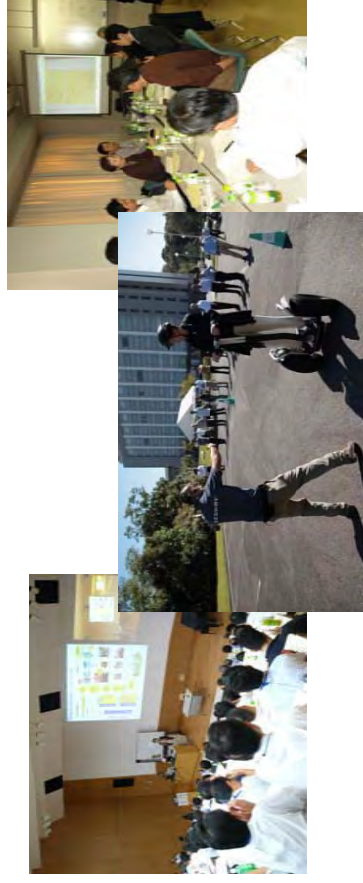


63

ジェントロジー・コンソーシアム【産業界との連携事業】

概要

- 東京大学(IOG機構)と産業界とのコンソーシアムを形成(2009年度～)
→ 様々な業種から計53社が参加
- 共同研究会を継続開催
- ジェントロジー-各分野の先端知識・技術を企業に提供
- 「2030年の超高齢社会構想と産業界のロードマップ」を共同制作
- 最終的に、超高齢社会に必要な新たな産業(商品・サービス)の創成を目指す



64

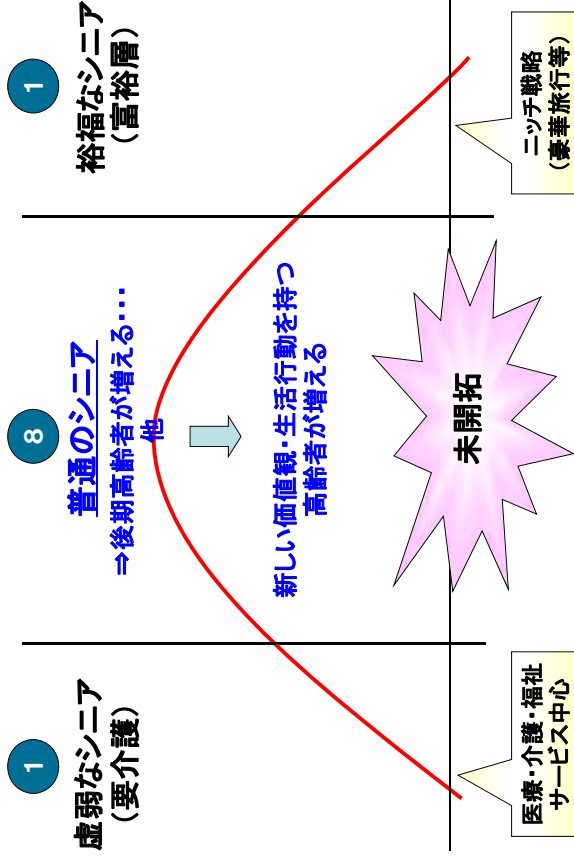
東京大学産学ネットワーク「ジェロントロジー」参加企業

59 社

味の素(株) / アンファ一(株) / ㈱荒井商店 / コンパツツ税理士法人 / 大日本印刷(株) / 大和ハウス工業(株) / デュボン(株) / イーソリューションズ(株) / 江崎グリコ(株) / ㈱ファンケルスタッフ / 富士フィルム(株) / 富士ソフト(株) / ㈱富士通総研 / ㈱コンポン研究所 / ヘルスケアパートナーズ(株) / ㈱日立製作所 / ハウス食品(株) / ㈱イトーキ / ㈱ジェイテック / 花王(株) / ライオン(株) / ㈱LIXIL / ㈱メデイシンク / MSD(株) / ㈱ミサワホーム総合研究所 / 三井物産(株) / 三井不動産(株) / ㈱みずほ銀行 / 日本電気(株) / ネスレ日本(株) / ㈱ニチレイフーズ / 日本生命保険相互会社 / 日本ハム(株) / 日産自動車(株) / 野村證券(株) / ㈱NTTドコモ / 沖電気(株) / パナソニック(株) / ㈱リサーチ・アンド・ディベロプメント / ㈱リコー / ㈱セコム / 西武信用金庫 / ㈱積水インテグレート / ㈱ドリマ / ㈱新生紙 / パルプ商事(株) / ㈱資生堂 / シーメンス・ジャパン(株) / サンスター(株) / サントリービア&スピリッツ(株) / サントリー食品インターナショナル(株) / スズキ(株) / ㈱地球快適化インスティテュート / ㈱TMJ / 東京急行電鉄(株) / トヨタ自動車(株) / ㈱ユニー / ユニ・チャーム(株) / UR都市機構 / 八千代工業(株) / ヤマハ発動機(株)

65

高齢者市場の捉え方⇒1:8:1



66

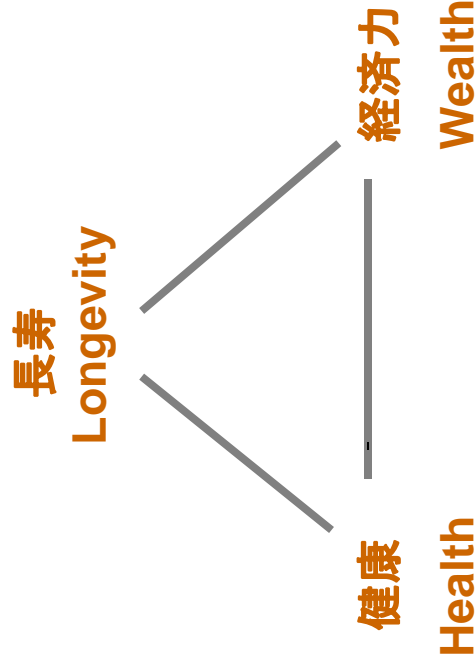
Living Lab

Living Lab = 住民 (生活者・当事者) と「共創」するイノベーションの総体



67

超高齢社会の課題と可能性



19

68